学校番号	２１２

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自分の思考・感情や内面の世界、美意識を感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」「工芸」、ファインアート及びデザイン分野にまたがり複合的に捉え表現する「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・様々な素材や道具を扱います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。
・ルールや条件を守り、意欲的な態度で授業に臨んで下さい。得意・不得意に関係なく、積極的に諸活動に取り組むことで、表現力が培われていきます。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

（２）　造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

（３）　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	**美術って何だろう**	【総合】 ・オリエンテーション 1年間の学習の流れ・評価の仕方について 教室の使い方・道具の確認。 ・アンケート ・教科書を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・スケッチ	a: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 b: 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、表現している。 c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	制作の様子 作品	制作の様子 作品	学習活動の様子 制作の様子
	デッサン入門	【絵画・彫刻】 ・デッサン基礎 ・クロッキー 対象をさまざまな角度から短時間で描写する。 ・制作 画面構成を考え描写する。 ・鑑賞	a: 形体や明暗のとらえ方を理解し、作品を鑑賞し、よさや特徴を感じ取っている。 b: 鉛筆の特性を生かして対象をよく観察し、自分なりに工夫して表現している。 c: デッサンの意義や表現の楽しさを理解し、主体的に制作している。	制作の様子 作品 ワークシート	制作の様子 作品 ワークシート	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート 鑑賞活動の様子
	色彩構成	【デザイン】【鑑賞】 ・色彩基礎 色の3属性 トーンの概念 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着彩する。 それぞれのテーマのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	a:アクリル絵の具の特性を理解し、色彩やトーンに対するイメージをもとに構成や色彩の働きを考え、条件や美しさなどから構想を練っている。 b:平塗りの技術を用いて条件や計画を基に表現している。 c:色彩に関心を持ち、構成や色などの働きを考えながら主体的に制作している。	制作の様子 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート 鑑賞活動の様子

2学期	**様々な表現技法**	【デザイン】 ・様々な表し方の技法を表現に生かし、制作の幅を広げる。スパッタリング、フロッタージュ、コラージュ、スタンピング、ステンシル等で表現する。 ・身近なものに目を向け、日常から美やおもしろさを再発見し、新たな視点で捉え直し、その存在意義を見出す。写真をもとにコラージュするか、写真をもとにデザイン表現、着彩など様々な技法を使って表現する。 【鑑賞】 ・夏休みの課題として、美術館で鑑賞レポートを書く。	a:鑑賞から学び、文字、形や色、イラストや写真などの構成を理解し、技法の違いで伝えたいことがどう伝わるか想像力を働かせて見立てをし、独創的な発想で構想を練っている。 b: それぞれの技法を使って工夫して表現する。 c:デザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 作品	制作の様子 作品 ワークシート	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート 鑑賞レポート
	染色　藍染ハンカチと手ぬぐい制作	**【デザイン】** **【鑑賞】** 伝統工芸「伊勢型紙」の制作過程や型染、藍染について鑑賞する。 **・アイディアスケッチ** 雑誌やチラシから形をイメージし、文様をデザインする。 反復表現を生かしたデザインを考える。 **・制作** 藍染、絞り染め、抜染技法、型染を用いて制作を行う。（2色染めも可） ・相互鑑賞	a:染色の技法（藍染・絞り染め、抜染、型染）を理解し、目的、機能、美しさなどから主題を生成し、形や色などの働きを考えて表現の構想を練っている。 b: 目的や計画を基に工夫して表現している。 c:デザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	制作の様子 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品 下書き	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート 鑑賞レポート
3学期	**フィギュア制作**	**【絵画・彫刻】** **【鑑賞】** さまざまなフィギュア・キャラクターを鑑賞する。 **・アイディアスケッチ** モチーフを決め、形を考える。 **・制作** 針金等で骨組みを作り、石粉粘土で形を成形し、乾燥後削るなどして細部を作る。 アクリル絵の具で着彩する。 **【発表】** ・相互鑑賞、作品発表 **【選択課題】** 紙袋自由表現又は鉛筆デッサン	a:カービング、モデリングなど立体の技法を理解し、自己の作品に必要な適切な技法・材料を適切に選び、企画書を書いて計画して構想を練っている。 b:想像力を働かせて見立てをし、独創的な発想で制限時間内に表現している。 c:オリジナルの生物の制作に関心を持ち、自身の作品に愛着を持って主体的に制作し、表現できている。 発表で自分の作品を自分の言葉で発表できている。	制作の様子 作品	制作の様子 制作途中の作品 作品 ワークシート 発表	学習活動の様子 制作の様子 作品 ワークシート 鑑賞レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度